

# まちづくりへの決意を新たに



旭市長

明智忠直

こそ「ピンチをチャンスに」との思いで、やれることはやっていこうという強い気持ちを持ってまいります。

さまざまな機能の一つに集約することで、利便性の向上が見込まれます。建物は近代的で、周囲には広々とした公園や東総文

次に市の地域間を結ぶ道路網整備ですが、旭中央病院アクセス道、飯岡海上連絡道、南堀之内バイパス、津波避難道路と、

施してまいりました。元気回復特別給付金、中小企業や農水産業者への事業継続支援金、就学前児童臨時給付金、小中学校の給食費支援、医療、福祉、介護

今年は東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年です。まだ困難な問題が山積していると思いますが、ここは私たち日本人の底力を発揮し、IOCのバッハ会長や菅総理の言葉どおり、全世界がコロナに打ち勝った証として、平和の祭典を成功させようではありませんか。スポーツの持つ力は無限で、人々に勇気と希望を与えてくれます。世界中の人々が多くの場面で感動し、夢を見させてもらえる、そんな大会をぜひ実現してもらいたいと思います。市といたしまして、事前キャンプや聖火リレーの実施に備え、大会をさらに盛り上げるための準備をしているところでです。

はありますが、庁舎竣工を機に多くの事業を推進していかねばと、決意を新たにしているところです。まずは10年後、20年後の旭市を見据えた、生涯活躍のまち・あさひ形成事業でありまして、着工に向け準備を進めているところです。本事業は、若い世代への魅力発信に重点を置き「旭市は天候の悪いときや寒いときに、子どもと一緒にくつろげる場所がない」といった子育て世代からの多くの声に応えられるなど、定住や雇用の促進が期待できる事業です。高齢者、医療、福祉、商業施設など、さまざまな分野の拠点施設になるという思いで、民間活力を活用して進めているところです。

開通に向け順調に進捗しています。県事業の清滝バイパスも開通が見込まれ、長年の懸案事項であった銚子連絡道路についても、ルートの説明に入りました。道路網の整備は市の発展に結び付くため、今後も早期完成に向けて一層努力してまいります。

地方におけるこれまでのまちづくりは、人の交流やにぎわいの創出が基本でしたが、これからはコロナと向き合いながら、事業の優先度を考え、我慢の時間を認識し、取捨選択していかねばなりません。

冒頭から暗い話題になりましたが、だからこそ明るい前向きな市政を展開していくため、今

昨年7月で市町合併から15年が経過しました。市を象徴する新庁舎がようやく4月に竣工し、

そして、地方の最大の問題である人口減少対策であります。若者の定住促進、雇用の確保、結婚や出生率の向上、高齢化などは喫緊の課題であります。また、将来に向けた保育所や小中学校の再編を含む公共施設の統廃合問題など、市の将来を盤石な姿にすべく努めてまいります。

市民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。一年のご健勝をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

と忍耐の一年であったのではないのでしょうか。旭市では市民の皆さまが3密を避けるなど、新しい生活様式の徹底により、県下でも感染者数が少ない状況で推移しており、皆さまの意識の高さに、心から敬意を表します。

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

市ではコロナ対策として、経済対策支援事業を第三弾まで実

# 安心して住み続けたいと思えるまちづくりを目指して



旭市議会議長

## 木内 欽市

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、穏やかな一年を願い、希望を持って新しい年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日ごろより市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私は昨年の12月議会におきまして、議員各位のご推挙により第16代議長に就任致したところでございます。全力を傾注して旭市の発展に尽くしてまいりますので、よろしくお願いたします。

世界は今コロナ禍にあります。昨年4月には、新型コロナウイルス

ルス感染症緊急事態宣言が発令されるなど、これまで経験したことのない事態となり、さまざまな対応と対策を求められました。この冬もコロナの第三波に対する感染拡大の防止と地域経済活性化の両立、医療現場の崩壊危機など、非常に困難な状況が続いております。

昨年度では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、国の特別定額給付金と併せ、市独自の旭市元氣回復特別給付金を臨時議会で可決しました。このほかにも、コロナ禍による家計の急変や負担が増えた子育て、介護、福祉、教育などへの給付金の支給をはじめ、コロナと最前線で闘う医療機関への支援、深刻な影響を受けた農水産業者や中小事業者への経済対策について、執行部と連携しながら取り組んでまいりました。今後もしスピード感を持って支援事業などを提案してまいります。

日本は人口減少社会の到来による少子高齢化が問題になっており、旭市も対応していく必要

があります。昨年度、市の掲げる将来都市像の実現に向けて、急激な人口減少の歯止めと地域経済の活性化、持続可能なまちづくりを引き続き行う第二期旭市総合戦略を策定しました。診療圏人口100万人を誇る旭中央病院、県下一の農業とそれを基盤とした商工業、豊かな食文化や自然環境などを市民の「宝」として最大限に生かし、多くの人や企業が集まりにぎわう、希望に満ちたまちづくりのため、努めてまいります。

少子高齢化対策としては、高齢者の活躍の場や安心して暮らせる地域づくりと、若い世代の婚姻率向上につながる出会いの場の創出や、出産・育児にかかると家庭や親の負担軽減など、安心して子育てができる環境づくりに取り組めます。そして、持続可能な多世代交流拠点を目指した「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」についても、将来の旭市を見据えた事業として展開することを期待しております。

昨今はコロナ禍に加え、全国

各地で大規模な自然災害が発生しています。市民が安心して暮らしていくためには、災害対策にも一層力を入れていかなければならないと考えます。旭市国土強靱化地域計画の中でも、事後対策から事前防災の備えを推進しているように、強さとしなやかさを持った地域づくりを、議会においても議論しながら推進してまいります。

コロナ禍における新しい生活様式の実践など、今後も多様な変化への対応が求められるのですが、明るい話題もあります。今年7月に開催が予定されている東京2020オリンピックでは、聖火リレーが市内を通過し、市民に希望と勇気の火をともしてくれることと思います。また、春には市役所新庁舎の竣工を控えており、6月の第2回定例会からは新議場において議会を開会いたします。親子で傍聴できる傍聴席を整備したので、ぜひ新議場へ傍聴においでいただきたいと存じます。

市議会本会議はインターネッ

トを通じて、パソコンやスマートフォンなどで中継が視聴できます。どうぞご覧になり関心を持っていただきたいと思えます。今後も「市民に開かれた議会」と市議会の活性化や改革に取り組み、旭市の発展のため、誠心誠意尽くしてまいります。

結びに、本年も皆さま方がご健勝でご多幸にお過ごしされますよう祈念申し上げますとともに、コロナ禍の早期終息を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

